

校 報

み た け



観  武

岩手県立盛岡みたけ支援学校
令和5年度 第1号

明るく 仲よく たくましく

通算第 125 号
令和5年4月 28 日(金)



「新しい学校づくり」 校長 工藤 弘毅

昨年度末からの暖かさで、小中、高等部校舎どちらの桜も入学式を待たずに満開となりました。桜からの「少しでも早く新型コロナウイルス感染症から抜けだしてほしい」とのメッセージにも感じました。

あの突然の学校閉庁から約3年3か月が経過しました。5月8日からは新型コロナウイルス感染症もインフルエンザと同様の5類へ移行の予定です。本校でも手洗い、消毒、換気を継続しつつ、マスクについては必要な場面を設定したうえで、それ以外の場面では外しても外さなくても良いという方向で検討しております(4月8日現在)。決定次第保護者の皆様にはお知らせいたしますので少しお待ちください。

「新しい学校づくり」の一つ目はコロナからの脱却です。この3年間多くの子どもたちが一堂に会する学びが難しい状況が続きました。各校舎で先生方が工夫して授業や行事に取り組んできた3年間でもありました。今年度はこの3年間で培った新しいものと集合型の学びを組み合わせさらに新しい学びに発展させていこうと考えていますのでご協力をお願いいたします。

二つ目は二戸の新設校についてです。平成20年の分教室開室から16年。念願の新設校設置に向けた設計の予算を組んでいただくことができました。多くの方々の長年の取り組みの成果と感謝しております。

私の頭の中だけのスケジュールですが、今年中に設計が完成し、6年度の工事予算要求。6年度に工事の予算が生まれ工事がスタート。7年度の後半に工事が終了し年度内に小中学部が引っ越し。令和8年度に開校式というようにイメージしております。今後も様々な面で保護者の皆様には引き続きご支援をお願いいたします。

三つ目は奥中山校のバリアフリー工事と医療的ケア室設置工事です。現在送迎車が玄関まで乗り入れることができないため雨の日などは皆さんにご不便をおかけしていましたが、工事完了後は屋根のついた玄関まで車を横付けできるようになります。また玄関内も安全で快適な空間になります。工事期間中はご不便をおかけしますがよろしくをお願いいたします。

さて、今年度も本校小中学部、高等部、二戸分教室、奥中山校が一体となりながらそれぞれの地域の状況を把握し、児童生徒を安全安心の下、「学校の主語は常に児童生徒」を基本として教育活動に取り組みますので、保護者の皆様には引き続きご支援ご協力をお願いいたします。

